

SHIMIN PHOTO

市民フォト

離島 鹿児島

No.77

H11.7.1
発行





わがまち 上空散歩

平川町芝野上空から

写真中央を通りているのが国道226号とそれに沿ったJR指宿枕崎線。その曲がり角にあるのは福平小学校。学校の近くには障子川が流れています。写真右上に見えるのは、平成8年10月に移転開業した食肉センター。

芝野は、五位野駅周辺の閑静な地域で、自然がたくさん残っています。保存樹にもなっている福平小の「くすの木」はみんなの宝物。小・中学校、町内会で行っている障子川上流のクリーンリバーアクションで、今でも子どもたちが水遊びできるのも魅力。また、町内の農家に市内の幼稚園児が「いもほり」にやってきて新しい交流も生まれています。

もう一つは、文化・伝統が息づいていること。夏まつりでは福平公民館の庭で小・中学校、婦人会、敬老会のとなりの披露があります。十五夜では、ススキ、クリ、ハギを子どもたちが近くの山から採ってきて、各家庭に配るという豊作を祈る昔からの習わしが今でも生きています。さらに、皆さんの町を愛する気持ちが強く、一齊清掃では町内の九割の方々が参加して、道路の草刈りや空き缶拾いをしています。

これらの素晴らしい財産を守って、「みんなが住んでいてよかったと言われるようなまち」（心のふるさと）を、皆でつくっていきたいと思っています。

わがまち自慢

芝野町内会会長
芝崎 亨さん



表紙写真について

晴天の日曜日。眼前に浮かぶ桜島を眺めながら、ゆったりとした時間が流れます。海づり公園

子どもたちは、お父さんに教わりながら大物ねらい。確かに手ごたえに、ワクワクしながらリールを巻き上げると、アラカブの姿が見えてきました。

「やったー」と大喜びの祥平君。「みそ汁にしようかな」と微笑むお母さん。きっと自分たちで釣った魚はおいしいぞ。妹の美幸ちゃんの分まで、ますますがんばらなくっちゃ!

- | | | | | | | | | |
|-----------------------|--------------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|--------------------------|-------------------------|------------------------|------------------|
| 31 誌上「市営施設見学会」 | 30 向田邦子遺品
「タイの青銅製古太鼓」 | 29 市民ギャラリー
吉野公民館 | 28 かごしま近代文学館
西別府にて | 27 よかタイム
徳田むつ子さん | 26 ふるさとの歴史探訪
鹿児島市の町並み | 25 あなたのフォトサロン
成千代子さん | 24 わたしの好きな場所
野口拓男さん | 23 伊敷中学校
学校探訪 |
| 32 クロースアップ
石原みち子さん | 33 ハロー鹿児島
ヘラルド・ソトさん | 34 カメラトピックス | 35 【特集】達人の健康法 | | | | | |

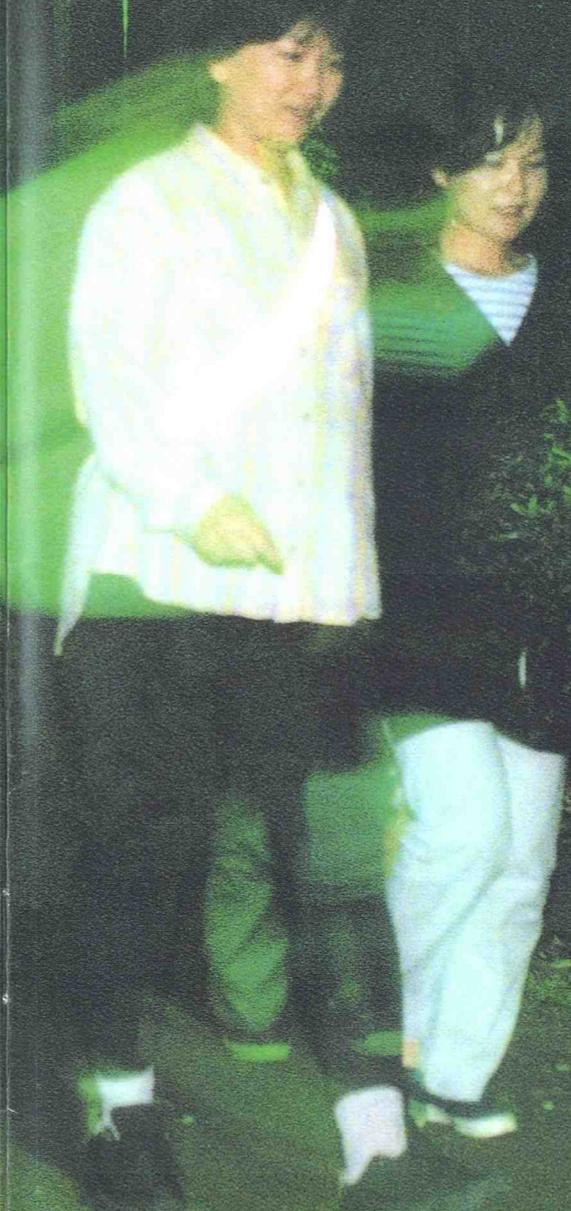
夏バテも吹っ飛ばす キラリッ☆達人の健康法

健康づくりを意識し、何かを始める人は少なくない。しかし、3日、3週間、3ヶ月たつと、多くの人は、いろいろな理由で途中でやめてしまい、健康づくりも中途半端になってしまっているのではないかろうか。適当な運動などは体によい効果をもたらすが、その効果は永久的なものではない。健康が保持されるためには、健康づくりの習慣を持ち続けることが必要とされる。そこで今回は、健康づくりを自分の体力や時間・環境にあつた方法で、楽しく生活化している「達人たち」の日常をご紹介しよう。

健康づくりの方法はあふれており、簡単なことでもあるのだ。

「仕事帰りにボクササイズでいい汗かいてます。」
堀田ユカさん

日が沈み、涼しくなったころ、
近所の人たちは思い思いに公園へ出かける。
もちろん健康のためでもあるが、
お互いに一日の出来事などを話しながら、
夜の中に、呼吸や足取りを感じあう
貴重な時間もある。



腹の底から刺激する。

田上太鼓(たがんでこ)会長

大重琢也さん(四十四歳)

太鼓の音が腹の底に響き、腹の底から元気が出でくるんです。この音は、みんなの輪を感じる気持ちのいい響きなんです。
聞いている人の腹の底にも元気を伝える気持ちで、まちのために人のためにと思いながら、やり甲斐と誇りを持つてたたいています。
太鼓をたくと、身も心もスッキリしますね！ 夏は暑いので、思いっきり汗を流したいです。



毎朝、ちゃんとしたみそ汁を食べる。

食生活改善推進員
吉窪 フチ子さん(77歳)

食生活については、いろいろな注意すべきことはありますが、私が何十年も続けている健康の元を一つあげれば、「みそ汁」なんです。
昆布といりこでしっかり出汁を取り、わかめや豆腐を入れ

る。ときには少しづつ芋や大根など野菜を入れる。
これだけでも多くの栄養が取れるんです。
骨粗しょう症など問題となっていますが、カルシウム値など半年で、はっきりと数値として表れるはずです。

地域の老人クラブで健康づくりを進めています。
無理をしないことが大事。病気の人、体調の良くない人は動きたがらないが、それが寝たきりにつながってしまう。自分に適した健康づくりを心掛けねば。元気な者だけの健康づくりではないんですから。

私は、毎朝ベッド体操をしています。特に柔軟体操が大事ですね。これが健康な一日のためのウォーミングアップなんですね。

柔らかい体は健康の元。

永吉団地栄寿会会長

前田 純夫さん(七十四歳)



健康は与えられるものではない、自らつくるものである。

園芸会社勤務 松尾 明さん(65歳)

20年前は、病気で入退院を繰り返していました。よく言われますが、病気になった人ほど健康の有り難さが分かるんです。あれからジョギングを始め、今は、毎朝手足に重りを付けての10キロランニング、週3回の水泳、自転車など、トライアスロンの大会にも出場しています。

昔からすると、まさに「継続は力なり」が実感です。体力はもちろん、とにかく自信がわいてきます。

健康づくりの機会はたくさんあります。場に出ていくことが大事ですね。そうすると自然とやる気になりますし、一つのことから話題や行動が広がり仲間も増え、ますますやる気になるんです。



やはり、一番くつろげる場所は自分の部屋です。自分自身が快適に楽しく生活できるように、好きなアロマの香り、好きな音楽、好きなハーブティーなどちょっとした工夫でリラックスしています。

自宅での気軽な森林浴というか、山や海の大自然の中に居るような気持ちにもなります。そういう時間を大切にすること

が、内面的に自分を高め、心の充足になっています。ストレスはためないことが大事ですね。

インテリアショップ勤務
古藤 美保乃さん(三十一歳)

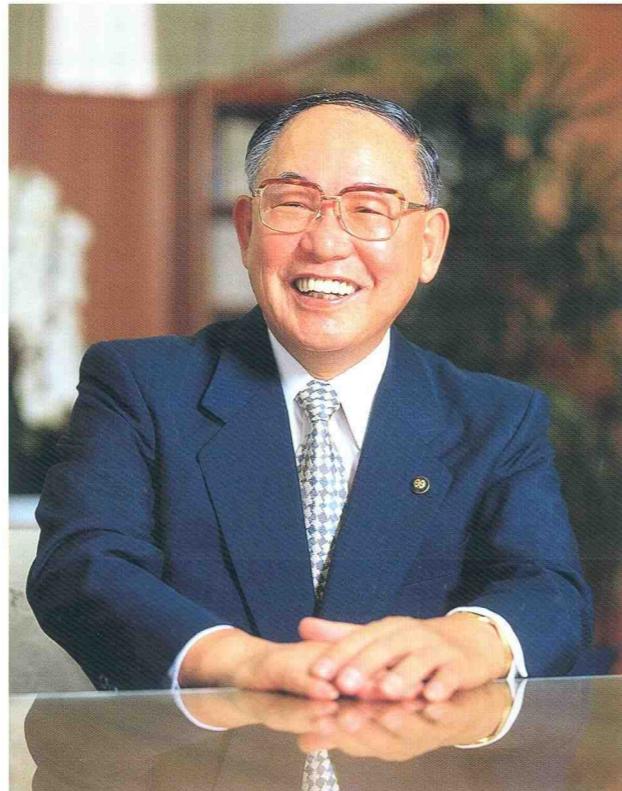
気持ちいい空間をつくる。

健康づくりで最も大切なことは、「自分の健康は自分が作る」という意欲心を持ち努力することですね。そして、いきいきと明るく生活することが大事ですね。

市では、市民の皆さん健康づくりを支援するための施設整備や講座の充実などに努めています。四月には西部保健センターがオープンし、二保健所・二保健センター体制ができあがりましたが、この中にかごしま温泉健康プラザを併設しました。この健康プラザは温泉都市鹿児島ならではのものです。新たな健康づくりの拠点として毎日大変多くの方々に楽しくご利用いただいております。

市が進める健康づくり施策と市民一人ひとりの健康づくりの努力が相まって、すべて

鹿児島市では、市民の健康づくりをどのように進めていますか？



赤崎義則鹿児島市長

健康づくりについて

～市長に聞く～

市長ご自身の健康法は 何でしょうか？

私は、充実した気力で仕事に取り組むことができるよう健康づくりには特に努力しています。

暇ひまをみつけては自宅付近をウォーキングしています。また、鉢物いじりが

好きですので、植物と語り合いながら心身のリフレッシュも図っています。

特に毎朝飲むコップ一杯の特製生ニンジンジュースが健康の源ではないかと思っています。

仕事においては、市民の方とお会いして話をするのをとても楽しみにしています。多くの方とのふれあいの中で、市民の方々の元気を分けていただいているのではと思っています。

これから夏本番を迎えるますが、市民の皆さんへ一言お願いします。

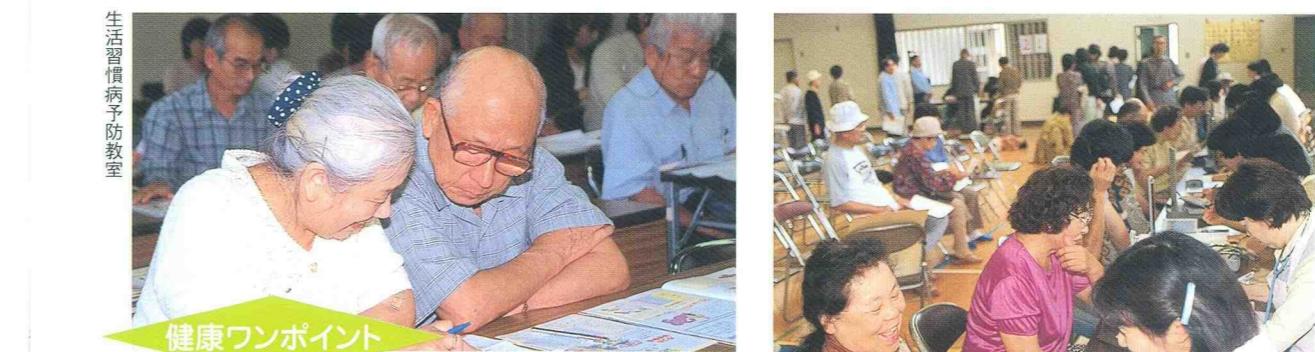


温泉健康プラザでの健康づくり

夏バテ防止策は人それぞれだと思いますが、気分的に暑さに負けないで、南国鹿児島の夏を満喫していただきたいと思います。

ニガウリなどの夏の味覚を楽しんだり、マリンレジャーや自然遊歩道でさわやかな汗を流し、最寄りの温泉でリフレッシュするということは鹿児島の最大のぜいたくではないでしょうか。

この夏をお互いに笑顔で元気に乗り切れましよう。



健康ワンポイント 健康診断の結果を十二分に活用を ～大事なのは検査値の動き

現時点では、異常値でないかもしれません、以前の検査値と比べて同じ数値なのか少しづつ悪くなっているのかによって、あなたの健康状態に対する判定は微妙に違ってきます。



地域での検診風景～基本健康診査



生き生き健康講座～黄色のTシャツは運動普及推進員の方々

軽い運動と思われがちですが、十分間しっかりと動けば、消費エネルギーは約百キロカロリーにもなります。一日の望ましい運動量は、男性で三百キロカロリー、女性で二百キロカロリーといわれていますから、ラジオ体操だけで、なんと一日の三分の一～二分の一が消費される計算です。体操のコツは、息を十分に吐きながら行うこと。そして背筋をピシッと伸ばすこと、効果的ですよ。この夏始めてみては！

短い時間で簡単に、毎朝続けられる 全身運動 ラジオ体操*

健康ワンポイント



食生活改善推進員を養成する栄養教室

3歳児健康診査

保健所・保健センター

市内には、中央・山下の二保健所、谷山・西部の二保健センターがあります。あなた自身の生涯を通じた健康づくりの心強いサポート役として、様々な講座や相談、また疾病の早期発見と予防のための健康診査などをを行っています。

動物を見た瞬間、触った瞬間に、 表情が劇的に変わるんです ～心から「よかったです」と思う

日本ではあまり知られていない聴導犬。今年五月、石原さんは九州では初めてとなる聴導犬協会を設立した。自他共に認めるという行動派。お話しからも明るく積極的、そして伸びやかな人柄があふれてきた。

聴導犬との出会い

「母が高齢になり、耳の不自由を感じていたとき、聴導犬を知ったんです。」

元来動物好き。「これだ」と思った。聴導犬の勉強をするうち、聴導犬が障害者の心を癒すセラピーの役割が大きいことに注目する。

「人間と仲良くできる犬ならどんな犬でも大丈夫なんです。聴導犬以外でも動物の持つ癒す力をもつといろいろな場所で活用できればと思い始めました。」

ボランティアグループでの活動

早速、ボランティア活動を始めた。「アニマル・セラピーはペット療法とも言われます。私たちは、自分の飼っている動物を老人ホームなどに連れていく、動物に触れ合うことで心のケアのお手伝いをしているんです。」

そしてセラピーの効果は実感している。「動物を見た瞬間、触った瞬間、表情が劇的に変わっていくんです。そして昔飼っていた犬や猫の思い出があふれ出でるんです。とても懐かしそうに、楽しそ

うに話されるんですよ。」

現在、グループには幼稚園児を始め、十代以下の会員も多い。セラピーに参加した若い人もまた、心を開いていくのが石原さんにはうれしい。

「お互い感謝し合っているんです。心からやつてよかったです」と思いますね。この感動が石原さんの行動力の源だ。

全国初

今年一月、一人の娘と共に渡米。聴導犬訓練センターで実地研修を積んだ。そして親子三人で「エンゼル聴導犬協会」を設立。実は聴導犬の認定ができる全国で初めての機関である。

聴導犬を知つてから二年弱でここまできたことに、「娘たちの協力なしではできなかつたこと」と家族の絆に感謝する。それと、聴導犬やアニマル・セラピーが「あまりにも知られていないことに驚いたり、残念に思つたりすることがかえつて『私がやらねば』という思いにつながってきたのでしようね。」とも。

協会を設立し、可能性は広がる。

「まずはより多くの人に理解してもらうことに頑張りたいですね。そして、聴導犬やアニマル・セラピーを必要としている人が、より豊かな人生を過ごすための基礎をつくっていきたいです。」

愛犬たちを追う目は慈しみに満ちています。



聴導犬訓練センターへアメリカ・オレゴン州



老人ホームを訪問



石原 みち子さん

エンゼル聴導犬協会 代表

PROFILE

昭和23年 鹿児島市生まれ
平成8年から 聽導犬の訓練と、アニマル・セラピーのボランティア活動を始める。
平成11年1月 アメリカオレゴン州の聴導犬訓練センターで実地研修を受ける。
平成11年5月 エンゼル聴導犬協会設立。

遠くて近い国コスタリカから 楽しみ探しの名人がやつてきた

ハロー鹿児島

●ヘルルド・ソトさん
(コスタリカ共和国)



五年間、鹿児島で頑張ります

「私の仕事のため、妻がコスタリカで五年過ごしてくれました。だから私も鹿児島で五年間頑張ってみたいんです。」

淡淡と、しかし、力強く話すのはヘルルド・ソトさん。コスタリカ出身の火山地質研究者である。

ソトさんと鹿児島の関わりは、奥様がコスタリカで五年間を過ごした。そこで次の五年間は奥様の故郷鹿児島で、と一年前に来鹿した。

心がジーンとうれしいこと

しかし、気になるのはソトさんの仕事のこと。火山地質研究はどうなったのか。「とりあえず、お休みです(笑)。でも、鹿児島でまた家族と一緒に生活できる楽しみの方が大きいです。」

ソトさんは、今、鹿児島で二つの仕事を取り組んでいる。

一つ目は、奥様の実家のインテリア装飾。新築住宅のクロス張りのサポートを頑張っている。「仕事は難しい。でもいろいろな家に行く度に皆さん、お菓子を食べなさい、お茶を飲みなさい、と言います。心がジーンとうれしいですね。」

二つ目が、英会話・スペイン語教室での指導。「鹿児島の人々の学ぶ気持ちの強さ。いつも驚かされます。そして、こう結論づけてくれた。

「火山研究は今はできませんが、人生は長いです。色々な人に会える今の仕事は私の一生でとても大切。将来の火山研究にも必ず役立ちます。」

鹿児島の黒豚は世界一

次に鹿児島の魅力を聞いてみた。「全てです。青い空と海。大きな火山そして温かい人の心。」

目を細めて話してくれたソトさん。視線の向こうに鮮やかな映像を結んでいたのはコスタリカの原風景だったに違いない。「しかし、何といっても黒豚のトンカツ。サクサクして香りがよくて最高。世界一の食べ物です。」

本当にいとおしそうに話すソトさん。彼と話していると、鹿児島に対する誇りと愛情が呼び覚まされるから不思議だ。

楽しみを見つけ出す名人

最後に、これから目標を聞いた。

「今年はザビエルがここに来て四百五十年。ザビエルが日本を愛したように、私も鹿児島が大好きです。ザビエルと鹿児島のことを勉強し、本にしてコスタリカに紹介する。それが私の夢です。」

ソトさんは、どこにあっても南国の太陽のようにからつと明るく、常に目標を照らし続けられる人である。

「もっとと近い目標もあります。暑い時にピアガーデンに行くことです(笑)。」

もっと知りたい あの国この国

コスタリカ共和国

コスタ (浜) リカ (豊か)
=自然豊かな地との意



コスタリカは遠くて近い、なつかしい国だった。

【あらまし】 中央アメリカ南部の共和国。住民はスペイン系白人が主で、言葉はスペイン語。宗教はカトリックが主。面積は約5万平方キロ(九州と山口県を合わせた面積ぐらい)。人口は約340万人(鹿児島県の2倍弱)。

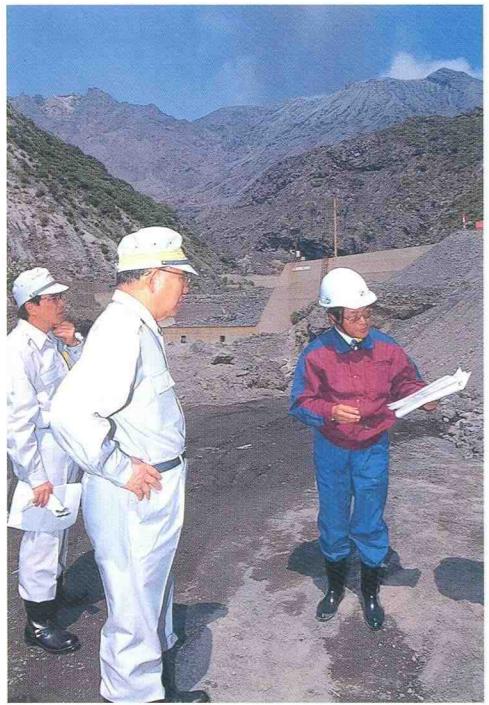
【文化】 義務教育は無料で、成人識字率は95%と高い。国家予算の約30%が文教費。大学では日本語学科があるところも。また、テレビでは日本アニメが多く流れている。ソトさんは「鉄腕アトム」のファン。



市内のスペイン語教室で楽しく教えている。

こんにちはスペイン語 ~笑顔があれば大丈夫~

- こんにちは〈Hola〉 オラ
- さようなら〈Adiós〉 アディオス
- ともだち〈Amigo〉 アミーゴ
- にほん〈Japón〉 ハポン
- かざん〈Volcán〉 ボルカン
- うみ〈Mar〉 マール
- ありがとうございます〈Muchas gracias〉 ムチャス グラシィアス
- コスタリカ共和国〈República de Costa Rica〉 レプブリイカ デ コスタリカ



5月12日 防災点検

雨期を前にして、桜島班と市街地班に分かれて入念な点検を行いました。



5月16日 渋谷・鹿児島おはら祭

2回目となる東京・渋谷でのおはら祭。総勢2千6百人の踊り連が、にぎやかに総踊りを繰り広げました。



5月9日 畜産フェスタ

都市農業センターで行われた恒例のイベント。畜産品の試食会や家畜とのふれあいなど多くの家族連れなどでぎわいました。



4月21日 ミス鹿児島夏服披露

今年の夏服は、健康的で南国性・都会性にあふれたものというコンセプト。



4月1日 西部保健センター(1・2階)、 4月10日 かごしま温泉健康プラザ(4階)オープン

2保健所2保健センター体制となるとともに、温泉都市・鹿児島ならではの新たな健康づくりの拠点ができました。



5月1日 かごしま水族館入館者200万人突破

200万人目は愛媛県松山市の岡田智子さん。
200万人達成を記念して、特別企画展「暗闇に生きる-鹿児島の深海生物」を8月末まで開催中。



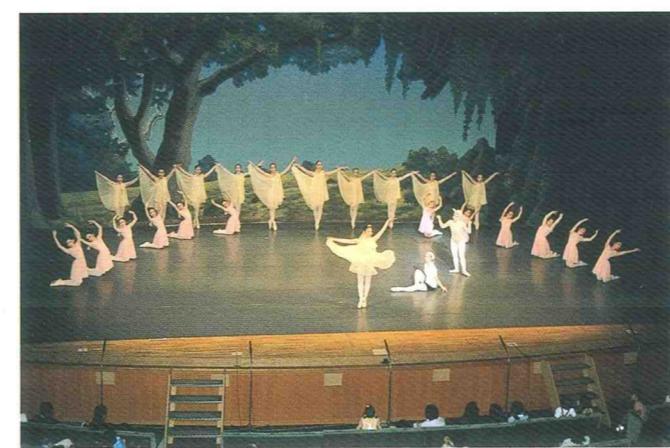
6月19・20日 鹿児島かんきょうフェア

天文館のいづろドームで、エコ商品の展示、フロン回収車実演、エコクイズ、エコクッキング教室など多彩な催しが行われました。



6月1日 西鹿児島駅再開発ビルオープン

鹿児島の陸の玄関口、西鹿児島駅前に、新しい顔が誕生。10番街区再開発ビルは7・8階に市が勤労者のための総合的な交流施設を計画しています。



5月9日 かごしま児童文学フェスティバル

広木小学校の児童による椋氏の作品の朗読劇や白鳥バレエによる創作バレエ「マヤの一生」などが行われました。



カメラトピックス



5月8日 棕嶋十児童文学賞授賞式

今回の受賞作品は、大阪に住む主婦、風野潮さんの「ピート・キッズ-Beat Kids」。

「志・寛・錬」これが我らの合言葉！



「志・寛・錬」のもとに

三年 宮園 圭太郎

伊敷中学校は創立以来五十二年、どこにも負けない伝統とパワーを持っています。

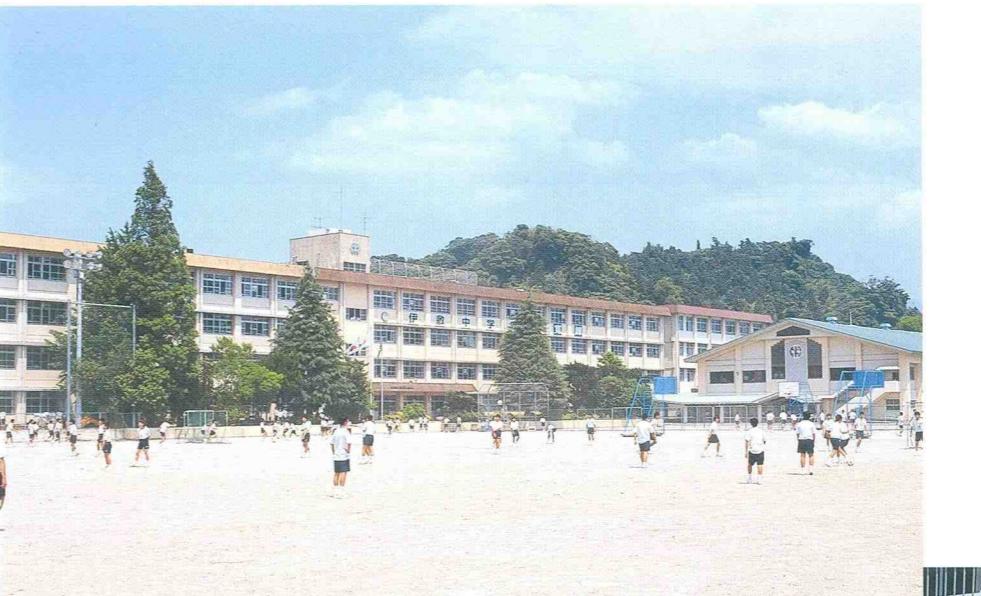
まず、三大伝統があります。登下校のとき感謝や願いを込めて行う「門礼」。授業と休み時間のけじめをつける「默想」。生徒会を中心に自主的に行う「朝作業」がそれです。

部活動も盛んで、ほとんどの生徒が体育系十七・文化系六の部のいずれかに属し、放課後を中心にして日々練習に励んでいます。

また、体育大会、文化祭をはじめ、学校行事には生徒全員が協力して取り組んでいます。ほかにも、生徒会が計画を立てて進めるコンクール等もあり、やり遂げる喜びや、仲間づくりの楽しさも味わっています。

本校は、鹿児島大学教育学部代用附属校でもあります。毎年一学期には、研究公開で、大勢の先生方がいらっしゃる中、緊張しながら授業に取り組んでいます。また、二学期には、教育実習で、多くの実習の先生方と一緒に楽しく学ぶことができます。

このように、伊敷中では生徒と生徒会、そして先生方が一つとなつて活動しています。校歌に「師友の愛護麗しく」とある通り、先生方には何でも相談ができますし、また、友達同士でもお互いに協力したり励まし合ったりしています。校訓「志・寛・錬」のもとに、これからも強く、そして大きく羽ばたいていけるように努力していきたいと考えています。



▲緑に囲まれた校舎と広い校庭



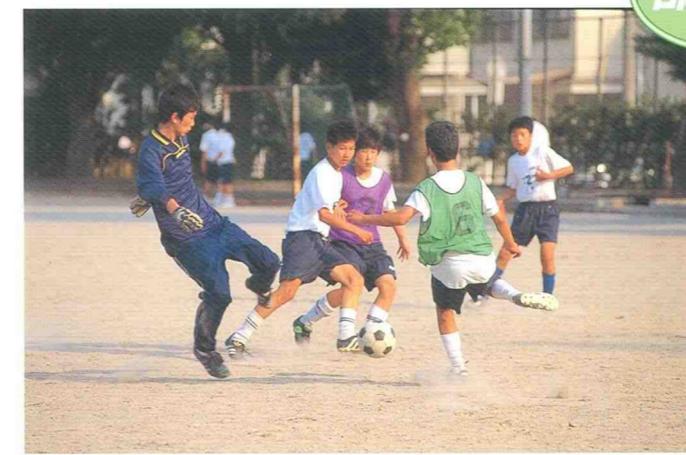
伝統を守る！



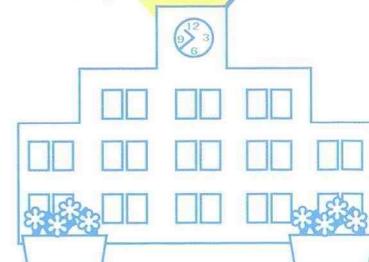
▲全校生徒1人1鉢運動を実践



部活動



学校探訪



伊敷中学校

- 創立 昭和22年
- 生徒数 782人
(平成11年6月1日現在)



ハリウッドより上町

野口 拓男さん
タレント

■上町・磯海水浴場

ここは、僕の出身地です。福昌寺跡などの古い史跡や、昔から住む人たちがいる、歴史と趣のある町です。

一度、仕事を始めてから別の場所に住んだことがあるんですが、やっぱり上町に戻ってきました。水が合うんでしょうね。親子四代にわたって上町に住み着いています。血筋なんでしょうね。

ジョギングしながら充電しています。

僕は、数ある上町の道でも、アヒル馬場と呼ばれるこの道が好きです。この空間だけ、時間がのんびり流れている気がして落ち着きます。意外なことに、昔はここを通ることは少なかつたんです。灯台下暗しで良さに気がついたのは最近です。住み慣れた町を、再発見していくのも面白いですね。

実はですね、ここは僕のジョギングコースなんですよ。滝のように流れる汗をふくため、タオルを頭に巻いて、この体を揺らしながら走っています。僕は朝の上町が好きです。それも、人が動き出直前の。朝には、不思議な力が込められているんでしょうね。僕の元気は、朝この道をジョギングしている時に充電しているといつても過言ではありません。



わたしの好きな場所



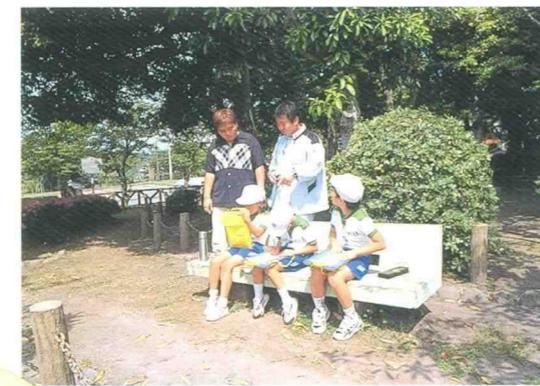
上町好きは血筋です。



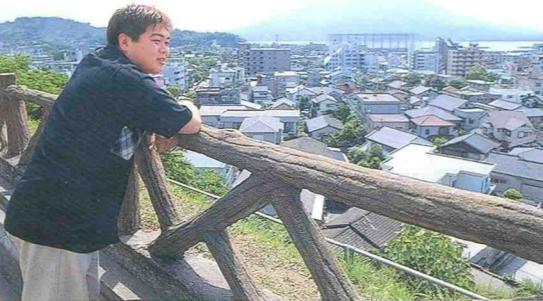
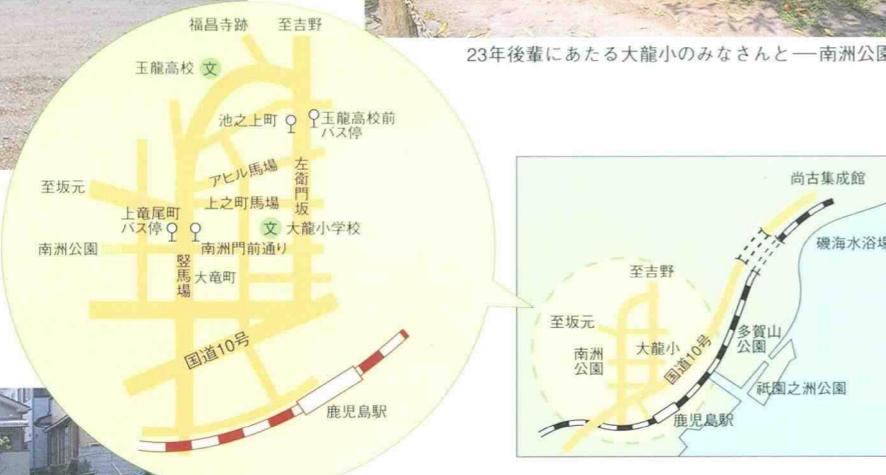
「今でもよく通っています。ここに来るまでの曲がりくねった道が好きなんですよ。」—磯海水浴場



「僕のジョギングコースです。」—アヒル馬場



23年後輩にあたる大龍小のみなさんと—南洲公園



「ここからの景色は昔から変わらないなあ。」—南洲公園の駐車場

★取材メモ

僕は将来、ハリウッドに進出します（まだ今は誇いがきませんが）。しかし、例え国際的な映画スターになつても、上町に住み続けたい。愛する家族も、心強い友達もいる。ここほど、安心できる場所はないです。きっと、僕は他の場所に住んだら、気をつかい過ぎてやせてしまうと思います。

歴史に囲まれた、閑静な住宅街。僕の心のよりどころです。

南日本放送の専属タレントとして、テレビ・ラジオで活躍中の野口さん。鹿児島市の広報番組「市民のひろば」にも出演、鹿児島弁調の語り口と、さわやかな笑顔で、独特のキャラクターをつくりあげています。

南日本放送でバイトをしていたときにアナウンサーへの声をかけられ、ラジオの仕事を始めたのがこの業界に入りました。下積みは長かったそうですが、「好きな仕事をしているので、苦労は感じませんでした」と明るく話してくださいました。

長田町在住、三十歳。

本当は、僕、「三十歳でこの仕事はやめよう」と思っていました。飽きっぽい性格なので、一つのことを続けられないのと、商売をやっている実家の影響からか飲み屋さんをやりたいと考えていたんです。でも、やっぱりやめられない。いろんな人や場所に会える、面白い仕事ですから。

僕の心と体型のよりどころ。

僕は将来、ハリウッドに進出します（まだ今は誇いがきませんが）。しかし、例え国際的な映画スターになつても、上町に住み続けたい。愛する家族も、心強い友達もいる。ここほど、安心できる場所はないです。きっと、僕は他の場所に住んだら、気をつかい過ぎてやせてしまうと思います。

歴史に囲まれた、閑静な住宅街。僕の心のよりどころです。

ふるさとの歴史探訪

島津氏と城の移りかわり

江戸時代の鹿児島の町は、鹿児島城（鶴丸城）を中心には整備されました。来年は、

からちょうど四百年目にあたりますが、鹿児島城は、その翌年の慶長六年に十八

代島津家久によって着工されています。

数年後には居館が完成し、堀を渡る橋が

できたのは慶長十一～一六〇六～年のこ

とでした。その後二の丸周辺の施設も整

備され、近世における城下町の体裁が整

えられていきました。

ご存じのように鹿児島城は、天守閣を持たない屋形造りの簡素なもので、城山に上山城があつて、いざという時の備え

としました。鎌倉時代以来の守護大名で

に上山城があつて、いざという時の備え

著者に聞く 田村省三さん



玉川大学文学部卒業後、国学院大学文学部・儀礼文化研究所を経る。昭和60年、尚古集成館学芸員。平成11年、尚古集成館館長。現在、市文化財審議会副会長。主な著書に、「尚古集成館」「島津日新公といろは歌」など。

◆歴史のおもしろさって何でしょうか？

- ・歴史は全て人が作ったものなんです。だから歴史に接することで、どの時代にでも行くことができる。それが第一のおもしろさです。
- ・また、そこで疑問に思うことを追ってみる。つまり、断片的に見えるものを取捨選択して、「真実」を探り出す。多くの方にこの感動を体験していただければと思います。

◆鹿児島の歴史を研究されての感想は？

- ・今年のザビエル上陸450周年に象徴されるように、鹿児島の歴史は世界史との関わりが大きいですね。
- ・鹿児島は日本では南の端だけど、アジアの海では中心なんです。
- ・情報交流の中心地としての鹿児島。その可能性が歴史を通して、鮮やかに浮かび上がりますね。



多賀山の東福寺城跡の碑

したがつて鹿児島市の歴史の上で、この時期に初めて本格的な城下町（守護町）が形成されました。家臣団の屋敷や庶民の居住する町家も、現在の上町地区を中心発展してきました。鹿児島の江戸時代の記録に、鹿児島市中の始まりは上

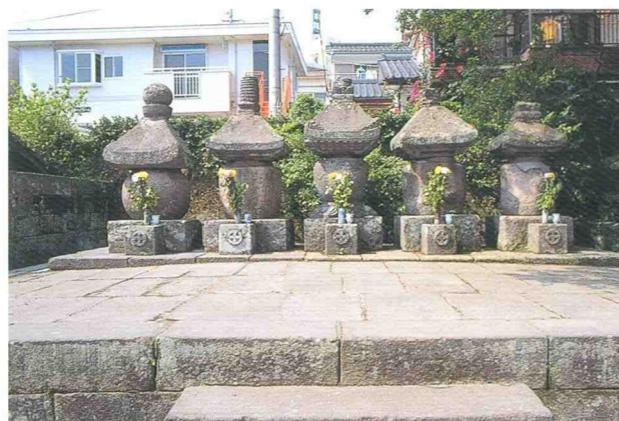
のです。

恵比須町であったと書かれていますが、現在のJR鹿児島駅付近、浜町から上本町にかけての辺りであつたと思われます。出水郡の野田感応寺とは別に鹿児島の本立寺にも建立するとともに、福昌寺や五社と呼ばれる諏訪神社・八坂神社・稻荷神社・春日神社・若宮神社などの寺社を造営して町の発展を図りました。

しかし、この清水城も戦国の争乱で焼失したため、

十五代島津貴久は現在の大龍小学校の敷地に居館を建て、天文十九（一五五〇）年にここに移りました。フランシスコ・サビエルが鹿児島にやって来た翌年のことです。この館は、領主の居館であるという意味の「御内」あるいは「内城」と呼ばれ、城下町もまた再整備されました。

そして、この貴久の孫が鹿児島城を築城した十八代家久です。鹿児島城築城によつて、鹿児島の町が一層南へと発展していくきっかけができました。このように、鹿児島の町は、上町地区に起こり、南へ南へと次第に広がつていったのです。



本立寺跡の島津氏五代の墓（清水町）

鹿児島市の町並み

尚古集成館館長 田村省三



明治初年の鹿児島城（尚古集成館蔵）



それ以前の島津氏は、現在の出水郡野田町にあった木牟礼城や川内の碇山城を守護所としていました。この頃の東福寺城は、まだ島津氏の出城としての性格しか持つていませんでしたが、鹿児島は薩摩国と大隅国との境目にあたる交通の要衝であり、以降島津氏にとつても重要な城となつて、守護所としての機能を帯びるようになりました。

そして七代元久の時代には、東福寺城は名城ではあるが手狭であるとの理由から、嘉慶元（一三八七）年にやや稻荷川上流、現在の清水中学校の後ろの山に山城を構え麓に館を建て、室町時代の約百五十年間、島津氏八代にわたる居城となつた

。あつた島津氏は、山城の麓に居館を設けている、中世武士のスタイルを江戸時代になつても守り続けていたのです。そもそも島津氏が現在の鹿児島市に城を構えるようになつたのは、南北朝時代の暦応四（一三四一）年のことでした。五代島津貞久が、当時南朝方に属していました。肝付氏と矢上氏を多賀山の東福寺城に破つてこの城を奪い、四男でのちに六代を継いだ氏久を住まわせて鹿児島の拠点としたことに始まります。

それでも島津氏が鹿児島に造つた居城は、島津氏が鹿児島に造つた居城はこの城ばかりではありませんでした。さて、この鹿児島城築城に伴つて整備された町並みが、今日の鹿児島市の町並みの基礎となつていることは間違ありませんが、島津氏が鹿児島に造つた居城はこの城ばかりではありませんでした。

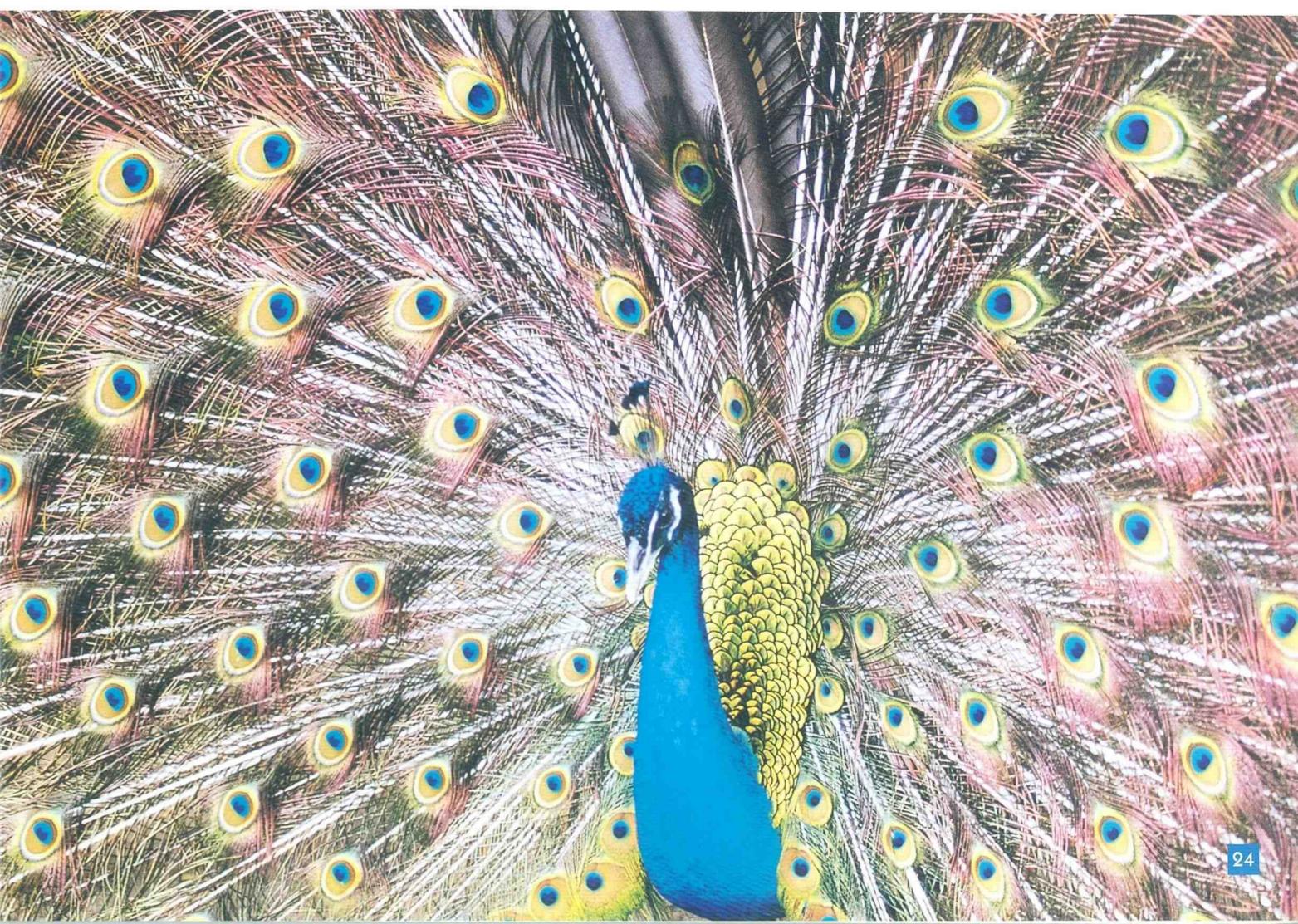


PHOTO SALON

あなたのフォトサロン



いのち
「生命あるもの」
写真 成 千代子さん



よかタイム

ガーデニング
徳田 むつ子さん



A4 Q4

苦労したところは?

見よう見まねで始めたので、肥料のやり方ひとつにしても戸惑いました。台風が来ると、鉢を全部室内に避難させるんですが、自分が寝るところを探すのがひと苦労です(笑)。

A3 Q3

魅力は何でしょう?

花に引き込まれて、とにかく夢中になってしまふことでしょうか。例えば、夕方手入れをしていたら、いつの間にか暗くなったり、急に強い雨が降つたりすると、傘をさして花を守つてあげたくなるんです。

A2 Q2

育てるコツは?

毎日手入れすることですね。それから、すぐに咲くものではありますから、あわてず、あせらず、楽しんでやることです。

A1 Q1

きっかけは?

引っ越してきたときに、とても日当たりがよかつたので、花でも育ててみようかなと思いました。

5つの質問
よかタイム

A5 Q5

これから の目標は?

種類や色彩など、庭全体のバランスを考えた花づくりや、今まで育てたことのない外国の珍種などにもチャレンジしたいですね。

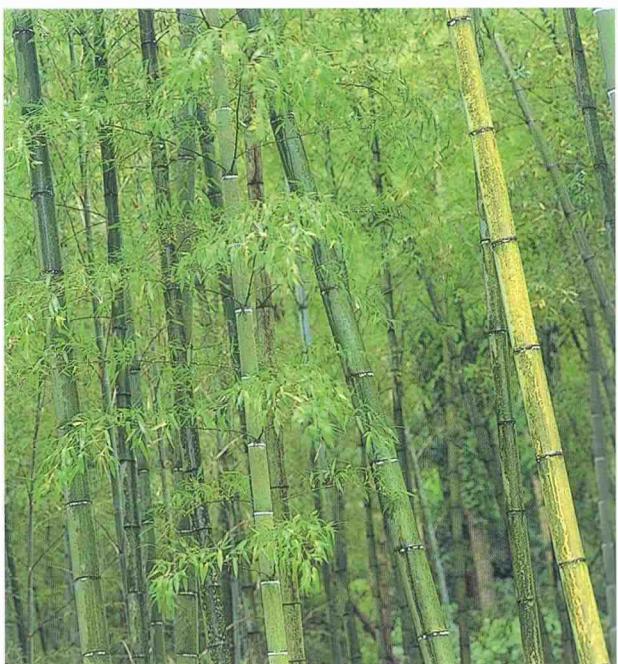


仕事、家庭、そしてガーデニング。学校へ行く子どもたちを見送り、花に水をかけて出勤していく徳田さん。

「花を見ていると、ほっとするんです。」
「心のゆとり」を持てるからこそ、花もきれいに咲くのでしょうかね。

西別府にて

かわいよの
自然

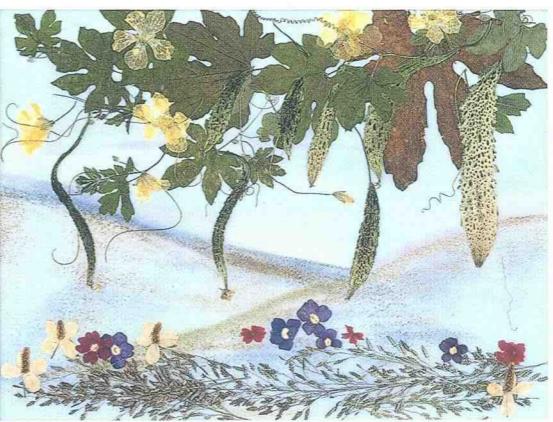


押し花 同好会

押し花同好会は、大津恵子先生の指導のもと毎月第二金曜日に活動しています。

押し花の良さは、季節を感じられるところです。各自ストックを交換したり、収集した時の思い出などを話したり、楽しくにぎやかに創作が進みます。

作品には、自然の恵みを享受する喜びが詰まっています。



「にがごり」 重久 フエ子さん



「花のシンフォニー」 西 いずみさん



「桜の木の下」 久下 八重子さん



「円舞曲」 前田 規子さん



「サンタがやってくる」 小橋 ゆう子さん



「春の碑」 脇田 佳子さん



「田神講」 木原 美和子さん



「なかよし」 末吉 ひろ子さん



「春の碑」 脇田 佳子さん



「田神講」 木原 美和子さん



「看板」 畠野 法子さん



「六月田」 田中 良子さん



「ソングライター」 田中 正代さん

根ギャリー

吉野公民館自主学習グループ

吉野写友会は、毎月第一・三金曜日が活動日です。普段撮りためていた写真を、講師の樋渡直竹先生や会員の皆さんで合評していくのが楽しみ。それぞれの個性やレベルに合った批評がうれしいところです。

時に冷やかし、時に真剣に教え合い、ざつくばらんに何でも話し合える雰囲気の中、腕も着実に上がっています。

吉野写友会

かごしま 近代文学館

向田邦子遺品「タイの青銅製古太鼓」



作家 向田邦子（1929～1981）

人気シナリオライターとして「だいこんの花」、「寺内貫太郎一家」、「あ・うん」などを手掛ける一方、小説家として『思い出トランプ』所収の短編「かわうそ」他2編で第83回直木賞を受賞する。水上勉（直木賞選考委員）は向田邦子を「人間の日常性を的確にとらえた」作家と評した。料理、旅行、陶器や絵画の収集など、趣味も豊富である。

昭和4年東京に生まれる。昭和14年父の転勤で鹿児島に移る。小学校時代の数年を過ごし、後に鹿児島を「故郷もどき」と呼んだ。実践女子専門学校（現在の実践女子大学／東京都）を卒業後、昭和27年雄鶴社に入社し、雑誌「映画ストーリー」の編集を担当する。昭和37年ラジオ「森重の重役読本」の台本執筆に加わる。昭和39年からは「七人の孫」、昭和46年からは「時間ですよ」などのテレビ脚本を執筆する。昭和55年「阿修羅のごとく」「あ・うん」「源氏物語」などの創作活動でギャラクシー選奨を受賞。エッセイも多く、昭和53年『父の詫び状』、昭和54年『眠る盃』、昭和55年『無名仮名人名簿』を刊行している。

昭和56年8月、台湾旅行中に航空機事故で死去。享年51歳。

タイの青銅製古太鼓

「私のように知識も鑑識眼も持ち合わない人間は、体で判断するほかはない。背筋がスッとして総毛だったら、誰が何と言おうと私にとっては『いいもの』なのである。」（『眠る盃』より）という向田さん。そんな向田さんの身の回りの品々は、高価なものから安価なものまで彼女のこだわりで集められた「いいもの」ばかり。使い方にも、古い皿を灰皿に、ケニアの腕輪を筆立てに、と向田さんらしいセンスがみられます。

この古太鼓もその一つです。タイ旅行中に立ち寄った骨董屋で見つけた向田さんは、色と形のよさを一目で気に入り、苦労の末、一年後にやっと手に入れたのでした。

これは昔、タイで戦争をするときに使った太鼓で、向田さんは、脳机として愛用していました。ティーテーブルとして、また旅行の際、妹にあてたメモを置く机として。あの台湾旅行に旅立ったときも、妹の和子さんにあてたメモがこの『太鼓の机』の上に残されていたのです。

かごしま近代文学館学芸員 久保田里花

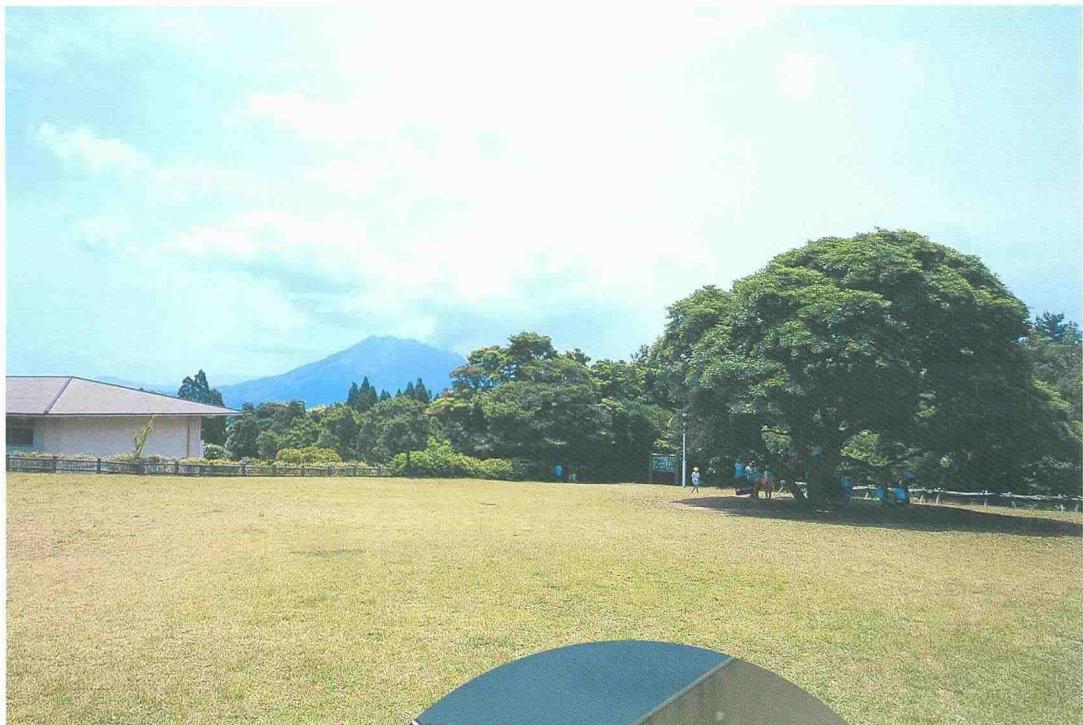
「タイの青銅製古太鼓」は、10月7日から開催の特別企画展「『向田邦子の魅力』展」で展示します。ご期待ください！

～緑の野山に囲まれた豊かな自然の中
子どもたちの笑い声があちこちから聞こえてきます～

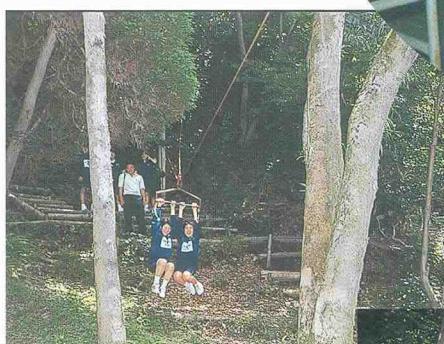
誌上

市営施設見学会

市立少年自然の家



▲天体観望～
「何が見える？」



▲アスレチックの森



▲「とっても広くて楽しい。今日はキャンプなんだよ！」



◀自然散策

吉野町11078-4 ☎244-0333

「わんぱく集まれ！」や「親子のつどい」など、市立少年自然の家では様々なイベントを用意しています。イベントへの参加のほか、団体やグループでの利用も受け付けています。自然とふれあう機会に、ぜひご利用ください。

※詳しくはお問い合わせください。

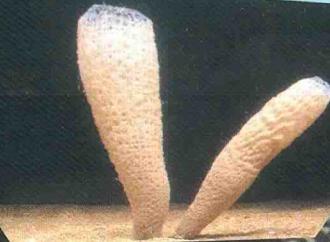
特別企画展・鹿児島の深海生物

暗闇に生きる

8月31日まで好評開催中!

海の底からやってくる光なき世界の住人たち。

私たちの間近にいながら、めったに見ることができない「鹿児島の海」の深海生物。
水深200mの海底に住む生き物たちとは。



●おうえんかいろうどうけつ



●あしながさんご 杯(さかずき)のような形をしたサンゴの仲間です。体をささえる白い6本のあしのようにつき出たとげがあります。



●くらかけざめ

のどに一对のひげをもっています。暗い海底でこのひげを使って餌をさがしているのかもしれません。



●はりながりんぼう

殻のまわりに細長い突起を持っています。この突起は外敵から身を守るために備わっているのでしょうか。



●くまさかがい

殻に石や貝などいろいろなものにつけることによって姿をかくし、外敵から身を守っているのでしょうか。

〈利用案内〉

●開館時間

通常期

9:30~18:00 (入館は17:00まで)

夏休み (7/20~8/31)

9:30~19:00 (入館は18:00まで)

●入館料金

区分	個人	団体(20人以上)
大人(高校生以上)	1,500円	1,200円
小人(小・中学生)	750円	600円
幼児(4歳以上)	350円	280円

※入館料で特別企画展を含む全館の展示がご覧になります。

250

この広報誌は、古紙配合率50%の再生紙を使用しています。

いわワールド
かごしま水族館
本港新町3-1 TEL226-2233